



京都大学医学部附属病院

総合周産期母子医療センター

中病棟2階/MFICU

# 病棟業務



## 妊婦さんへの看護

～妊娠初期から分娩前までの全時期の妊婦さんへ～

- ・ 妊婦健診
- ・ 赤ちゃんの状態のチェック
- ・ 切迫早産やそのほか合併症妊婦の入院管理
- ・ 妊婦さんへの心のケア
- ・ 妊娠期の指導（母親教室　お産教室　授乳教室）



# 病棟業務

## 褥婦さんと赤ちゃんへの看護

- おっぱいケアやマッサージ
- 育児指導や沐浴指導
- 退院後の生活指導
- 育児相談
- 産婦さんへの心のケア
- 退院後への切れ目のない子育て支援



# 分娩

～安心・安全なお産のために～

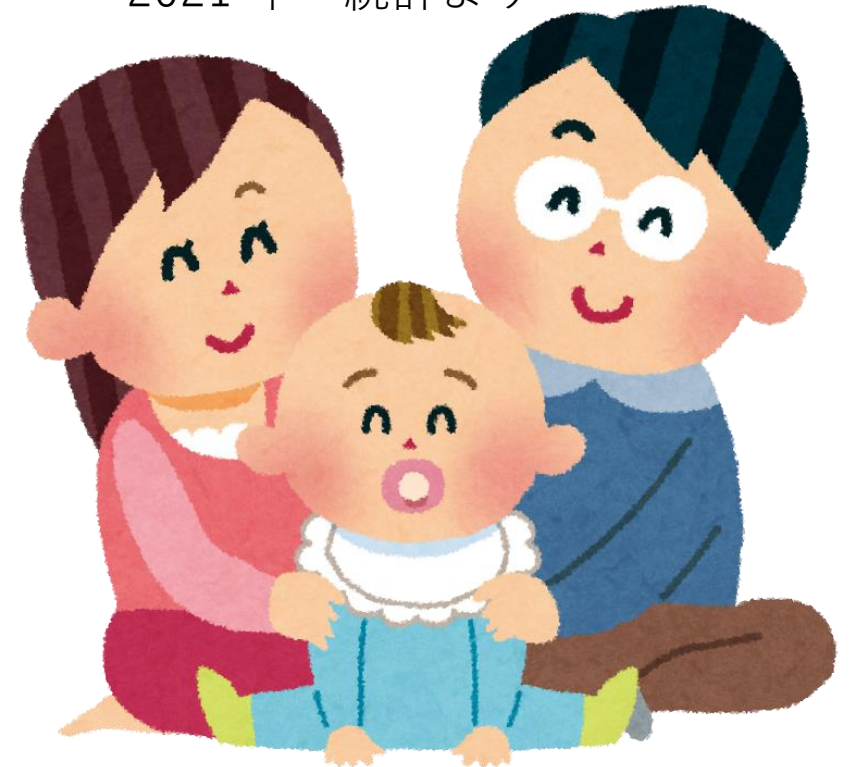
分娩件数 344例

経膈分娩：166例

帝王切開：178例

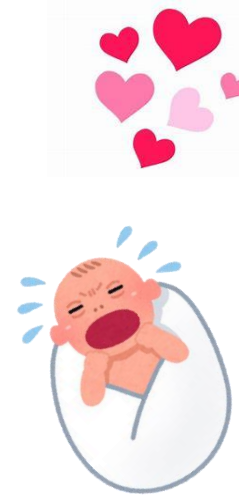
2021年 統計より

大学病院ならではの  
高度な設備と豊富なマンパワー  
専門診療科やNICUとの綿密な連携で、  
充実したケアの提供を  
目指しています。



# 施設紹介 ～分娩室～

ここは新しい命をお迎えするところです。



# ～新生児室～



赤ちゃんの診察や処置  
をしています。



# ～ナースステーション～



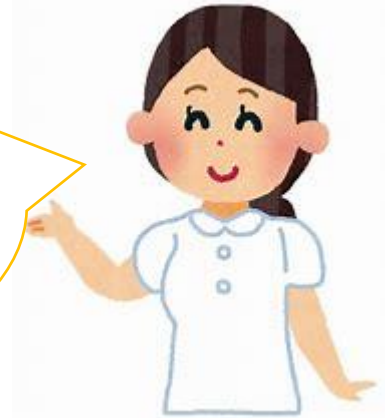
患者さんについての  
カンファレンス等を  
します。



# ～MFICU（母体胎児集中治療室）～



ハイリスクの妊婦さんが入院しています。  
緊急時はいつでもすぐに対応できる  
体制を整えています。





# ～談話室・授乳室～

## 談話室

現在は面会制限がありできませんが、普段はこちらで家族と面会ができます。奥にある沐浴槽で沐浴指導を行っています。



## 授乳室

分娩し退院された方も継続して授乳や育児の相談に乗っています。



# 院内助産（助産師外来）

「産む力」と「生まれる力」を最大限に活かしたケアを行います。

おひとり45分枠で妊婦健診と保健指導をゆっくり受けていただけます。



※スタッフが患者役を行っています

異常が起こった場合は24時間体制で医師が対応します。

## ～院内助産の流れ～

分娩予約（妊娠16週～）の際に、助産師外来のご希望を伺います。



妊娠24週以降  
医師外来と助産師外来を交互で受診  
（助産師外来が計3回以上）



院内助産を希望され、妊娠経過に異常がなく医師の許可が得られた場合、分娩介助は助産師のみで行います。  
（必要時以外は医師は立ち会いません）